RAW 264.7-GFP

305699

□要

□明

RAW 264.7-GFP□胞は、マウス成体の単球／マクロファージ系腫瘍に由来するマウス RAW 264.7マクロファージ様□胞株を遺伝子改変した派生□胞株です。 これらの□胞は、緑色蛍光タンパク質（GFP）を発現するように遺伝子操作されており、蛍光顕微鏡下で形態、遊走、食作用などの□胞プロセスをリアルタイムで可視化することができます。 親株である RAW 264.7 □胞株は、刺激を受けるとサイトカイン、一酸化窒素、活性酸素種を産生する能力など、活性化マクロファージの多くの機能的特徴を保持しているため、自然免疫応答のモデルとして広く使用されています。

GFPの導入により、in vitroでのマクロファージの挙動を動的かつ非侵襲的にモニタリングすることが可能となり、 RAW 264.7-GFP□胞は、生□胞イメージング研究やハイコンテンツスクリーニングの用途において特に有用です。 これらの□胞は、リポ多糖（LPS）やインターフェロン-γなどの炎症誘発性刺激に強力に反応し、 NF-κB や MAPK などのシグナル伝達経路の活性化をもたらします。このため、炎症シグナル伝達、宿主と病原体の相互作用、およびマクロファージの活性化に対する薬理学的薬剤の影響を調査するための有用なモデルとなっています。 ただし、親株と同様に、RAW 264.7由来のモデルでは、初代マクロファージと比較して調節経路に変化が生じている可能性があることを研究者は考慮すべきである。

遺伝子改変：複製不能レンチウイルスによる導入により、 ZsGreen1緑色蛍光タンパク質レポーターを発現するよう安定的に改変されている。プテロマイシン（ 1~5 µg/mL）による選別下で多クローン集団として維持される。 S1/BSL-1レベルでの封じ込め。

ティッシュ	腹水
病気	マウス白血病

同義語

- GFP/RAW264.7

分類

生物	マウス
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	GMO-S1

GMOのステータスに関する詳細

GMO-S1: This cell line contains a stably integrated ZsGreen1 green fluorescent protein reporter introduced via replication-incompetent lentiviral transduction. The resulting polyclonal cell population was maintained under puromycin selection (1–5 µg/mL). S1 containment is required. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

バイオセーフティレベル	2

識別子

引用

RAW 264.7-GFP（Cytion カタログ番号 305699）

NCBI 納税者番号	10090
セロサウルス	CVCL_D7C8

発現と感受性

抗原発現

ZsGreen1（緑色蛍光タンパク質）

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ
播種密度	2~5 × 10^4 □胞/cm^2
流体の更新	週3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地としては、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10%DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	アダルト

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB